

# メコン開発ロードマップ

- 1) 本ロードマップは、日メコン経済産業協カイニシアティブ(MJ-CI)行動計画の下、2012年から2015年までのメコン各国と日本との協力内容を記載したものである。
- 2) 本ロードマップの実施プロセスについては、日ASEAN経済産業協力委員会(AMEICC)西東経済回廊開発作業部会(AMEICC WEC-WG)により調整され、フォローアップされるものとする。
- 3) 本ロードマップの進捗は日メコン経済大臣会合によりレビューされ、また主な進捗については日メコン首脳会合プロセスに報告されるものとする。

分野	事業名	実施主体	事業計画(2012~2015)	報告先	完成/完了時期	MJ-CI行動計画概要段落
ハードインフラ開発						
1. 東西経済回廊						
(1) 道路状況の改善						
a. 国道9号線(ラオス)	国道9号線の路面状況の改善	ラオス(協力:日本)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・32.7億円の無償資金協力に関する交換公文(E/N)を2011年8月に締結。</li> <li>・2012年9月末よりメンテナンス工事を開始予定。</li> </ul>		2015年3月に実質的なメンテナンス完了予定。	I. 1. (4)
b. ミャンマー国内部分(ミャンマー)	東西経済回廊のミャンマー国内の複数箇所の開発(コーカレイ~ティンガニナウン間の路面状況改善等)	ミャンマー(協力:タイ)	コーカレイ~ティンガニナウン間の道路建設、及び第1泰緬友好橋~ミヤワディ間の道路(18キロ)の修復を実施中。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイ・ミャンマー2国間協議</li> <li>・GMS協力枠組み</li> </ul>	2014年半ば	I. 1. (4)
(2) 港湾及び関連インフラの開発						
a. ラックフェン港(ベトナム)	ラックフェン港の建設加速化	ベトナム(協力:日本)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間部分:政府保証請負(GGU)契約に向けた交渉を継続中。</li> <li>・政府部分:第6次土壌改良・埋め立て事業に向けた入札を2012年7月に開始。</li> </ul>			I. 1. (1)
b. ハノイ~ハイフォン港間高速道路(ベトナム)	ハノイ~ハイフォン港間の新規高速道路建設の促進	ベトナム	・道路用地周辺のセットバック作業に時間を要しているものの、2015年には完工を予定。		2015年	I. 1. (1)
c. プンアン港及び連絡道路(ラオス、ベトナム)	ベトナム・ラオス共同事業会社を通じたプンアン港の着実な開発	ベトナム、ラオス	・プンアン港の更なる建設・アップグレードの加速化に向け、2010年にベトナム・ラオス共同事業会社を設立。2011年に事業を開始したものの、更なる投資を期待。			I. 1. (2)
	国道12号線(ラオス)の補修	ラオス	・(ラオス)プンアン港へつながる、第3メコン橋からラオス・ベトナム国境に至る国道12号線の補修実施の可能性につき検討。			I. 1. (2)

# メコン開発ロードマップ

	分野	事業名	実施主体	事業計画(2012~2015)	報告先	完成/完了時期	MJ-CI行動計画概要段落
2. 南部経済回廊							
(1) 道路状況の改善							
	a. ネアックルン橋(カンボジア)	ネアックルン橋の建設促進	カンボジア(協力:日本)	・2011年6月に交換公文に調印後、2015年3月の完工に向け建設を進めている。		2015年3月	I. 2. (4)
	b. 国道1号線(カンボジア)	国道1号線の路面状況の改善	カンボジア(協力:日本)	・準備調査(フェーズ4)が完了。			I. 2. (4)
	c. 国道5号線(カンボジア)	国道5号線の路面状況の改善	カンボジア(協力:日本)	・(JICA)国道5号線のアップグレードに向けた準備調査を開始。			I. 2. (4)
(2) 港湾及び関連インフラの開発							
	a. カイメップ・チャーバイ港(ベトナム)	カイメップ・チャーバイ港の建設促進	ベトナム(協力:日本)	・2013年9月の完工を目指し、港湾建設を進めている。		2013年9月	I. 2. (2)
	b. ダウエイ港及び連絡道路(ミャンマー)	ダウエイ港及びタイ・ミャンマー国境までの連絡道路の整備協力	タイ・ミャンマー	・ダウエイ港及び関連インフラ(タイへの連絡道路、SEZ、貿易運輸円滑化等)開発に向け、民間事業者の信頼醸成のため、タイ・ミャンマー・日本の間で、3カ国協議の場を設置。	ダウエイ開発のためのタイ・ミャンマー・日本3カ国協議		I. 2. (1)
		ノンタブリ(タイ)~タイ・ミャンマー国境までの新規高速道路建設	タイ	・(タイ)カンチャナブリからタイ・ミャンマー国境に至る70Kmの高速道路建設を発表。 ・(タイ)上記高速道路建設に向けた事業化調査(F/S)及び詳細デザインのための予算3000万バーツ(約8,000万円)を承認	タイ内閣	F/S調査については2015年までに完了。	I. 2. (1)

# メコン開発ロードマップ

分野	事業名	実施主体	事業計画(2012~2015)	報告先	完成/完了時期	MJ-CI行動計画概要段落
3. その他のハードインフラ						
(1) 電力の安定供給						
a. メコン域内送電線網(域内横断)	域内電力安定供給を実現するため、アジア開発銀行(ADB)等関連機関と密接に協力しつつ域内送電線網の改善を進める	メコン各国、日本、ADB	・日ASEAN経済産業協力委員会(AMEICC)西東回廊開発作業部会(WEC-WG)、ADBの電力関連会合等、協議枠組みに相互に専門家を招へいし、情報共有を促進する。 ・(日本)AMEICC事務局が2012年3月に実施した、メコン地域の安定エネルギー供給に関する調査結果をADB-GMS、ASEANエネルギー大臣会合、その他の民間対話の場などと共有を進める。			✓
	ラオス南部の送電線網の着実な開発(ラオス)	ラオス(協力:日本)	・(日本・ラオス)2011年3月に交換公文に調印後、ラオス南部の電力システム開発事業を着実に実施(バクサン~サバナケット間の送電システムは完成、サバナケット~サラバン間は2015年末までの完成を目指し開発中)。	エネルギー・鉱物資源省(ラオス)	2015年末	✓
b. 発電所	ナムグム第1水力発電所増強事業の検討(ラオス)	ラオス(協力:日本)	・(日本)ラオス・ナムグム第1水力発電所増強事業の実施可能性につき検討。			✓
	パルーチャン第2水力発電所改修事業の検討(ミャンマー)	ミャンマー(協力:日本)	・(日本)電力供給強化のため、ミャンマー・パルーチャン第2水力発電所改修事業の実施可能性につき検討。			✓
(2) 経済特別区(SEZ)開発						
a. 経済回廊周辺SEZ	経済回廊沿いのSEZ開発支援	メコン各国	・(ラオス)民間企業誘致のため、サバンセノSEZを開発。 ・(タイ)バンコク~東西経済回廊(タイ・ミャンマー国境)の大規模開発事業を発表。カンチャナブリのSEZ開発につきF/Sを進めている。	・経済特別・特定区国家委員会(ラオス) ・タイ内閣	カンチャナブリでのSEZ開発に関するF/Sは2012年末までに終了予定(タイ)。	I. 1. (6)
b. ティラワSEZ		ミャンマー(協力:日本)	・(日本・ミャンマー)SEZ開発を含めた、ミャンマー・ティラワ地域の開発の可能性につき検討。			✓
c. シアヌークビル港SEZ	シアヌークビル港に隣接するSEZの開発	カンボジア(協力:日本)	・(日本・カンボジア)日本のODAローンを活用し、シアヌークビル港SEZを2012年5月に完工。		2012年5月	✓
(3) 空港のアップグレード						
a. ノイバイ国際空港(ハノイ、ベトナム)	第2ターミナルの着実な建設推進	ベトナム(協力:日本)	・(日本・ベトナム)ベトナム・ノイバイ国際空港第2ターミナル建設事業を着実に実施。			I. 3. (4)
b. ロンタイン国際空港(HCMC、ベトナム)	空港開発に関するF/Sの実施	ベトナム(協力:日本)	・(日本)ロンタイン国際空港建設事業につき、F/Sを着実に継続実施。			I. 3. (4)
c. ビエンチャン国際空港(ラオス)	空港拡張工事の実施	ラオス(協力:日本)	・(日本・ラオス)ラオス・ビエンチャン国際空港の拡張事業を着実に実施(2012年7月時点で拡張工事の進捗率71%)。		2012年11月30日実質完工予定	I. 3. (4)

# メコン開発ロードマップ

分野	事業名	実施主体	事業計画(2012~2015)	報告先	完成/完了時期	MJ-CI行動計画概要段落
II 貿易円滑化・物流						
a. 税関手続き	アジア・カーゴハイウェイニアティブの実施	メコン各国、日本	・(日本(財務省及びJICA)、メコン各国)アジア開発銀行(ADB)、世界税関機構(WCO)と連携し、①NACCSシステムのベトナムへの導入を含む、先進税関手続きシステムのメコン各国への導入、②認定事業者(AEO)システムの導入・実施に向けた税関職員への能力開発等、JETROのビジネスニーズ調査で明らかになった要望を適宜考慮に入れつつ、同イニアティブを進展させる。	貿易円滑化に関する日ASEAN関税局長・長官会合	・ベトナムへNACCSを2014年までに導入 ・その他事業については2020年完了予定	II. 2. 4. 5.
	税関手続きの向上	メコン各国	・①法的・行政的な手段を通じた税関手続きの透明化、②重要国境での税関開庁時間の延長・調和、③相互理解促進のための税関と産業界との対話メカニズム構築、等の手段を通じ、税関手続きの向上を促す。			II. 5
b. FTAの活用	FTAの活用促進	メコン各国、日本	・(JETRO)民間企業にとり①原産地規則、関税引き下げスケジュールなどのFTA関連情報へのアクセスを容易にし、②関連オフィシャルとの対話機会を設けるため、メコン各国でセミナー・ワークショップを開催。			✓
c. 越境交通協定(CBTA)・その他の物流円滑化	CBTAの実施	ADB、メコン各国	・①ミャンマー・タイによる協定別添文書の批准の進展、②カンボジア・タイの間の南部経済回廊相互乗り入れの開始(2012年6月14日)等、着実にCBTAを実施する。 ・(ラオス、タイ、ベトナム)東西経済回廊のCBTA適用範囲をハノイ・ハイフォン港～ビエンチャン～バンコク・レムチャパン港に拡大する内容のMOUに調印。 ・南北経済回廊の昆明(中国)～ハイフォン港(ベトナム)間のルートを正式にCBTA適用範囲に追加(2012年8月16日) ・南北経済回廊の深セン(中国)～ハノイ(ベトナム)間のルートを正式にCBTA適用範囲に追加(2012年8月22日) ・CBTAをヤンゴンまで延長するため、ミャンマー・ADBの間で2012年9月に会合を開催予定。			II. 6.
	その他の物流円滑化	メコン各国、日本	・(JETRO)バンコク～第3メコン橋～ハノイに至る物流のF/Sを実施(2011年度)。 ・(JETRO)バンコク～ヤンゴンの2国間交通に関するF/Sを実施予定(2012年度)。			I. 1. (5)/ II. 6

# メコン開発ロードマップ

	分野	事業名	実施主体	事業計画(2012~2015)	報告先	完成/完了時期	MJ-CI行動計画概要段落
III 産業協力(中小企業、サービス産業及び新産業)							
1. 裾野産業育成							
(1) 投資促進							
	a. 外国直接投資(FDI)の促進	ビジネスミッション、投資フォーラム等の活動を通じた日本企業の投資促進(CLM諸国への労働集約産業等)	日本、メコン各国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(JICA)ラオスに引き続き投資促進に関する専門家を派遣する。</li> <li>・(JETRO)南部ベトナム、カンボジアを含む南部経済回廊視察ミッションを派遣予定(2012年9月)</li> <li>・(JETRO)ミャンマー・投資企業管理局(DICA)と日本企業の投資に関するMOUを締結するとともに、生産サイト視察のためのミッションを派遣。</li> <li>・(JETRO)投資アドバイザーをJETROヤンゴンに設置(2012年7月)。またJETROビジネスサポートセンター・ヤンゴンを2012年9月3日に開設予定。</li> <li>・(JETRO)ミャンマー・ティラワSEZの開発に資するため、開発ステータスの確認等、情報共有のためのリエゾン会合を開催(2012年6月)。</li> <li>・(HIDA)ミャンマー商工会議所(UMFCCI)との間で、各種研修事業・セミナー開催・その他各種人材開発プログラム実施のための包括的MOUを締結(2012年6月)。</li> <li>・(日本)メコン各国のインフラ開発のための研修プログラムを実施予定。</li> </ul>	13回AMEICC MJ-CI会合		III. 1. (5)
	b. 輸出促進	一村一品運動に代表されるような輸出促進活動の実施	日本、メコン各国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(JETRO)日・タイ間のビジネス取引拡大のため、日本、世界の市場トレンドにつき地場中小企業に情報提供するためのセミナーを開催(2012年7月)。</li> <li>・(JETRO)カンボジアの地場中小企業に日本市場の情報提供を行うため、同国に専門家を派遣予定(2012年下半年)。</li> </ul>	13回AMEICC MJ-CI会合		III
2. 中小企業育成							
(1) 金融アクセス							
	中小企業金融促進	地場中小企業の金融アクセス容易化に向けた中小企業金融システムに関する知識共有機会の促進	メコン各国(協力:日本)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(JICA)ベトナムで中小企業金融プロジェクトを実施中。</li> </ul>	13回AMEICC MJ-CI会合		III. 3
(2) 技術アクセス							
	a. 人材開発(HRD)の促進	特に製造業の人材開発のための、メコン各国での職業訓練推進	メコン各国(協力:日本)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(JICA)金型・鑄造産業の品質向上・マネジメント管理、技術指導のための中小企業へのシニアボランティアを継続的に派遣する(例:ベトナムに長期シニアボランティアを派遣)</li> <li>・(日本及びメコン各国)産業人材育成のため、「アジア専門教育ネットワーク(APEN)」をメコン各国へ導入する。</li> </ul>	13回AMEICC MJ-CI会合		III. 2
	b. ビジネスマッチング機会促進	地場部品メーカーとメコン地域の日系メーカーとのビジネスマッチング機会の促進	メコン各国、日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(JETRO)第5回ベトナム・日本裾野産業展示会をHCMCで開催予定(2012年10月)。</li> </ul>	13回AMEICC MJ-CI会合		III.

# メコン開発ロードマップ

分野	事業名	実施主体	事業計画(2012~2015)	報告先	完成/完了時期	MJ-CI行動計画概要段落
3. 潜在性がある産業分野及び新産業分野の育成						
(1) 産業開発戦略						
a. 産業開発計画	・メコン各国での産業開発計画の確立に向けた包括的研究の実施	日本、メコン各国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(日本)ベトナムの「2020年に向けた工業化戦略及び行動計画」作りを支援するため、日本が比較優位を持つ優先産業分野(電機電子、自動車部品、機械、鉄・冶金、裾野産業等)の検討に協力する。</li> <li>・(日本)ミャンマーの市場経済構造の確立に向けた支援を実施する。</li> <li>・(JICA)タイ中小企業活動強化及び競争力向上のため、タイの農村地域へ専門家を派遣する。</li> </ul>	13回AMEICC MJ-CI会合		✓
(2) 成長セクターの促進						
a. 農林水産品・食品加工産業	個々の産業分野でのワークショップの開催、専門家の派遣	メコン各国、日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(JICA)2012年までタイで食品加工産業のマネージャー育成のための技術指導プログラムを実施。</li> <li>・(JETRO)ミャンマーの加工食品工場での衛生マネジメントの確立のため、2012年8月、11月、2013年2月にそれぞれ専門家を派遣する。</li> <li>・(JETRO)ミャンマー農林水産ビジネスミッションを日本に派遣予定(2012年10月)</li> </ul>	13回AMEICC MJ-CI会合		IV. 2
b. 縫製産業			<ul style="list-style-type: none"> <li>・(HIDA)カンボジア・ミャンマーにそれぞれ以下内容で2011年より3年間の専門家派遣事業を実施。</li> <li>・カンボジア:指導者(パートナー)育成のため、パターンメイキング技能に関する能力開発を2011年~13年に向け実施。</li> <li>・ミャンマー:生産管理監督者育成のため、生産管理マネジメントに関する能力開発を実施(2011年)。</li> </ul>	13回AMEICC MJ-CI会合		IV. 3
c. 機械産業			13回AMEICC MJ-CI会合		IV.	
d. 観光産業			13回AMEICC MJ-CI会合		IV. 6	
(3) 新産業・新サービスの創出						
a. サービス産業	個々の産業分野でのワークショップの開催、専門家の派遣	メコン各国、日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(JETRO)タイ・バンコクに日本のレストラン・小売・卸売事業者によるミッション団を派遣(2012年12月中旬)。</li> </ul>	13回AMEICC MJ-CI会合		IV.
b. 環境調和産業			<ul style="list-style-type: none"> <li>・(日本及びベトナム(MONRE))グリーン・エイド・プラン(GAP)の枠組みでビジネスマッチングセミナー等、ビジネス支援事業を実施する。</li> <li>・(日本)メコン各国に環境産業促進のための技術指導プログラムを実施する。</li> </ul>	13回AMEICC MJ-CI会合		IV. 4
		カンボジア、日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(NEDO)2011年11月に締結された日本・カンボジア間のMOUに基づき、カンボジアで稲わらを用いたバイオマス発電の実証実験を実施する。</li> </ul>	13回AMEICC MJ-CI会合	2013年までに実験を実施。	IV. 4